

新型コロナウイルス対策

3回目のワクチン接種対応を伺う。
概ね5月中旬に完了する。

道心坂の道路改良

下田の要望1位である。市で早期に改良工事ができないか伺う。
県道として県で整備するのが最適と考えている。



改良工事が待たれる道心坂

三条病院の閉院

閉院が前倒しされることはないのか伺う。
基幹病院の閉院までは責任を持っていただけと考えている。

都市計画

マスタープランの見直しと体制について伺う。
令和6年をめぐり、専従組織の設置予定はない。

空き家対策

下田地区の壊れた空き家対策を伺う。
新年度から補助事業を計上。下田地区は起債対象となるが上限があり適用は難しい。

冬期災害対策

早水地内積雪観測データの公開について伺う。
システム改修が必要なことから現時点では考えていない。必要に応じ情報提供を考える。

牛野尾谷地域の水道について

今冬漏水による断水となった。今後の再発防止策と更新について伺う。
老朽度、重要度を考慮し全体の中で計画的に更新する。辺地債の対象となるよう国に要望している。



運場地内水道管の漏水復旧工事

CHECK! 常任委員会 審査レポート

詳しく議案を審査します!

総務文教常任委員会 酒井健委員長
広報紙の発行、月2回から1回へ

令和4年度三条市 一般会計予算

どのようにして、広報紙の発行を月2回から月1回にするのか。
例えば、若い方向けの情報はホームページやLINEに掲載することで全体の量は増えないようにしつつ、同等の質を確保できるよう取り組む。

米飯給食が主流になっているが、子どもたちの反応はどうか。
特に不評ということは伺っていないが、パンや麺といったものを食べたいという声は頂戴している。

子どもたちの要望は実現しそうか。

来年度からの見直しについては、学校生活をより豊かにする給食の視点から、米飯給食という基本は堅持しつつ、パンや麺の年5回の提供回数を令和4年度からは年22回程度へ増やすことを学校給食運営委員会に諮り、了承いただいた。

令和3年度三条市 一般会計補正予算

ふるさと三条応援寄附金について、受け入れ状況は順調であるとして以前説明があったが、現在もそうか。来年度の目標である25億円は達成できそうか。

令和4年2月末現在で約14億5200万円、昨年同期と比較し約20.6%となっている。全国の皆さんにネットを使って知っていただくという戦略を取った。来年度の目標はぜひとも達成していきたい。



付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

市民福祉常任委員会 岡田竜一委員長 誰もが共に支え合う共生社会の実現のために障がい者配慮条例を制定

令和4年度三条市 一般会計予算

通学路に防犯カメラを設置するに当たり、プライバシー保護に関してはどう対応するのか。
県の防犯カメラの設置及び利用に関する指針を参考に今後運営要領を作成し、その中で近隣住民等のプライバシー保護について規定していく。

障がい者配慮条例をどのような思いで制定しようとしているのか。
誰もが共に支え合いながら暮らし続けることができる共生社会の実現のため、行政・地域・企業・市民一人一人の行動をどう変えていくかという視点で条例の制定を進めていきたい。

10月1日から一定所得のある方に対して2割負担の新設があるが、この概要を問う。

令和4年度三条市 後期高齢者医療特別会計予算

10月1日から一定所得のある方に対して2割負担の新設があるが、この概要を問う。

令和4年度三条市 介護保険事業特別会計予算

施設になかなか入所できないという課題を解消するために基金を活用すべきではないか。
待機者について、第8期の計画の中では地域密着型特養という形で対応していく。



付託された議案のうち、議第3号および議第4号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

令和4年度三条市 一般会計予算

少子高齢化により現役世代が減少していることや、後期高齢者の医療費が増加傾向にあること等を踏まえ、世代間の負担の公平性の観点から、一定所得のある方の窓口負担を1割から2割に引き上げることとなったものである。

世田谷ものづくり学校がなくなると聞いているが、三条ものづくり学校の運営に影響はないのか。
世田谷ものづくり学校と三条ものづくり学校は、運営団体は同じであるが、施設の運営は明確に切り分けられており、直接的な影響を受けるといったことはない。

日本鍛冶学会事業負担金について、予算が昨年度に比べて200万円増額になった理由は何か。
鍛冶ミュージアムのオープンの際のこけら落としイベントや企画展に、日本鍛冶学会等による「たたら製鉄」事業を行うための経費。また、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年実施できなかったインバウンド事業に力を入れていくための経費も含めて、増額になったもの。

除雪車運行システムにアクセスが集中した場合にはシステムが耐えられなければならないと思うが、

経済建設常任委員会 野崎久雄委員長 除雪車運行システム、機能拡張でアクセス集中時の閲覧障害解消

今季は閲覧に支障が出たことはあったか。
2月17日には、1時間当たり900件を超えるアクセスがあり、システムの閲覧に支障が生じた。従来の約3倍のアクセス数にも耐えられるように機能を拡張し、今後そういった支障が生じないように、対応させていただいた。



付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

